



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R3年8月.
編集者 坂口 洋一
No. 50

走りさった八月・・・

夏休み、オリンピック、お盆長雨、パラリンピック、そしてその背景にデルタ株ウィルスの蔓延と目まぐるしく、様々な出来事が過ぎ去っていった八月でした。

帰省はするな、外出は控える、集まるな、食うな、呑むな、騒ぐな、歌うな等々制約が多すぎ息が詰まりそうです。

帰省は控えろというので、可愛い孫は帰ってきませんでしたが、ご先祖様はマスクもせずに里帰りされ、静かなおもてなしを受け、あわただしくお帰りになりました。

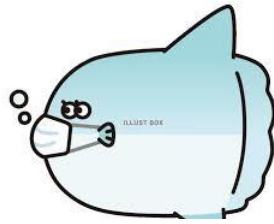
そんな中、オリンピックは楽しかったですね。感染のことはすっかり忘れ、連日連夜、日本人はもちろん、世界中のアスリート達の活躍を夢中で観戦したものです。

開始反対を叫ぶ人達もいましたが、今となってみれば唯一楽しかったことだと思いませんか。隣の嫌がらせは不愉快でした。放射状のものを見つけては旭日旗だと騒ぐのは滑稽です。あの人たちピザはどうやって分けるのでしょうか。ピザの丸かじり？

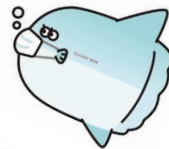
パラリンピックも楽しみですが、「感染」よりの「観戦」が良いにきまっています。

これからは高齢者よりも若い方達や子供たちの事が心配です。

マンボウと上手に付き合ひ、この難関を乗り切りたいものです。



蔓延防止=マンボウ



孫と言えば・・・

新聞にこんな川柳が。
「爺のこと世界一詐欺にあう」
意味がわかりますよね？

可愛い孫に「じいじ大好き」と言われ、ついつい孫の言いなりになってしまいうじいじの有様を詠んだ川柳です。会員の中にもそんな詐欺にあった人がいるのでは？

ね。若い孫は可愛いものですよ。

きらくな畑ではひまわりが終わり、今はダリヤとカンナがとても美しく咲いています。散歩がてら是非見に来てください。ベンチに腰を下ろし、ゆっくりと美しい花を見ていると、一時嫌な事も・・・



緑ヶ丘公園みんなの広場に行く道路の側溝に、きらくな会の要望により、7月中頃、蓋がつけられました。

「きらくなたより」がお陰様で発刊50号を迎えました。目くじらを立てることなく、いつも気楽に読んで頂き感謝しています。

